

アピチャポン・ウィーラセタクン+チャイ・シリ
Apichatpong WEERASETHAKUL + Chai SIRIS

クリスチャン・ボルタンスキー
Christian BOLTANSKI

デイジードーズ
daisydoze

ヒグチュウコ
HIGUCHI Yuko

平田尚也
HIRATA Naoya

ハラーイル・サルキシアン
Hrair SARKISSIAN

岩根愛
IWANE Ai

丸木位里・俊
MARUKI Iri & Toshi

松井冬子
MATSUI Fuyuko

諸星大二郎
MOROHOSHI Daijiro

マームとジプシー
MUM & GYPSY

新平誠洙
NIIHIRA Seishu

西太志
NISHI Taishi

丹羽良徳
NIWA Yoshinori

尾花賢一+石倉敏明
OBANA Kenichi +
ISHIKURA Toshiaki

諏訪敦
SUWA Atsushi

竹村京
TAKEMURA Kei

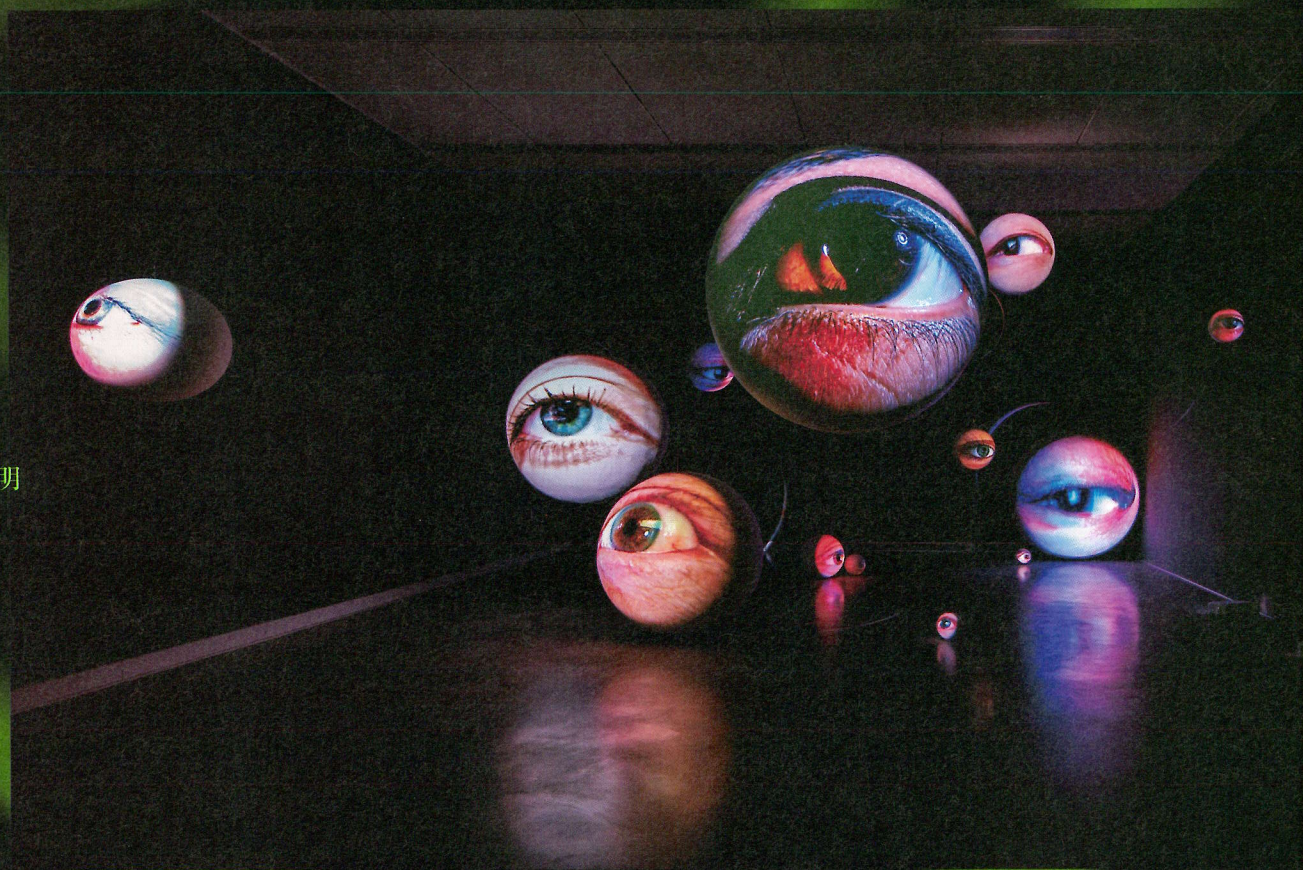
トニー・アウスラー
Tony OURSLER

山内祥太
YAMAUCHI Shota

横尾忠則
YOKOO Tadanori

ゴースト GHOST

When the Invisible Visible
見えないものが見えるとき



Tony Oursler, *Open Obscura*, 1996/2013. Installation view of
Tony Oursler: Black Box, Kaohsiung Museum of Fine Arts,
Kaohsiung, Taiwan, January 23–May 16, 2021.
Courtesy Kaohsiung Museum of Fine Arts.

2025年9月20日[土]—12月21日[日] アーツ前橋

開館時間：午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで) 休館日：水曜日 会場：1階ギャラリー+地下ギャラリー

観覧料：一般 1,000円、学生・65歳以上・団体(10名以上) 800円、高校生以下無料

*1階ギャラリーは観覧無料 *障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

*10月28日[火]「群馬県民の日」、11月3日[月・祝]「文化の日」、および10月11日[土]、12月13日[土]は「多様な学びの日」のため入場無料

主催：アーツ前橋 後援：上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所

September 20 (Sat.) – December 21 (Sun.), 2025 at Arts Maebashi

Hours: 10:00–18:00 (Last admission at 17:30), Closed: Wednesdays, Venue: Gallery 1 + Underground Gallery

Admission: Adults 1,000 yen. University students and Over 65 years old, Groups [10+ people] 800 yen.

Highschool students and under: Free.

*Free for holders of Japanese disability identification cards, along with a caregiver. *Free admission on October 11, October 28, November 3, and December 13.

Organizer: Arts Maebashi Supported by THE JOMO SHINBUN, Gunma TV, FM GUNMA, Maebashi City FM, Maebashi Chamber of Commerce and Industry



現代美術を軸として絵画、彫刻、写真、映像、インスタレーションといったさまざまな表現を、“ゴースト”というキーワードから広がる幾つかの視点から紹介し、見えるもの・見えないものが生み出す謎めいた魅力を探ろうとする展覧会です。

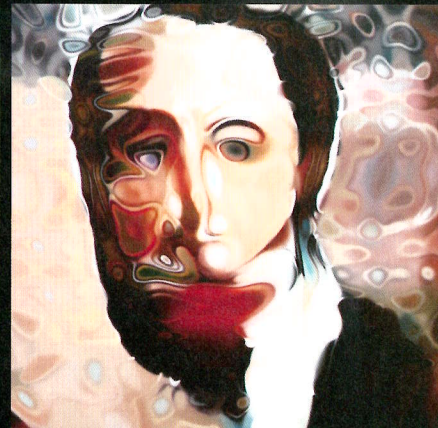
過去の歴史に対する批判、現代という時代の見直し、未来への可能性。不確かなそれらは曖昧で茫洋とした姿で立ち現れ、我々に新しい議論と多様な気づきをもたらしてくれています。亡霊（ゴースト）のように立ち上がるイメージは、過去と未来をつなぐメディアとなりうるのではないのでしょうか。そのような“ゴースト”に潜む表現の「美」を、作家の豊かなイマジネーションによって浮かび上がることによって、私たちを取り巻いている世界の見方について多くの示唆を与えてくれることでしょう。

「ゴースト」は、過去のものでも空想でもない。それは、私たちの視界の外側で、今この瞬間にも確かに“存在”している、もう一つのノイズである。

「ゴースト」という概念は、現代の混沌とした世界——戦争、分断、テクノロジーの脅威、環境破壊、そして人新世における絶望感——に対し、目に見えないもの、消えたもの、取り残されたもの、あるいは現在に忍び寄る過去の気配や未来の可能性の隠喩として捉えることができる。

この展覧会は、そうした“見えない存在”に目を向け、対話を試み、再び世界の一部として迎え入れることで、私たちの新たな可能性を開く場としたい。

本展ディレクター 南條史生



上から時計回りに：
 - 山内祥太《Being Us》2025年
 - 新平誠洋《Phantom Paint #3》2025年
 撮影：来田猛 Courtesy of ARTCOURT Gallery
 - 岩根愛《Shosuke Nihei, Kailua Camp—Maui, Hawaii》
 〈KIPUKA〉シリーズより 2016年
 © Ai Iwane, Courtesy KANA KAWANISHI GALLERY
 - 尾花賢一・石倉敏明《赤城山リミナリティ》2019年
 撮影：木暮伸也

関連企画

●daisydozeによるサウンドイマーシブシアター

日時：展覧会会期中（所要時間30～40分）／会場：前橋市 中心市街地
 参加費：有料（展覧会とは別料金）
 ＊事前申込・事前決済（申込方法、詳細については公式HPよりご確認ください）

関連イベント

●南條史生特別館長によるギャラリートーク

日時：9月28日〔日〕、12月7日〔日〕 午後2時～3時
 会場：アーツ前橋ギャラリー
 定員：30名（事前申込）
 参加費：無料 ＊当日の観覧券をご提示ください。

●学芸員によるギャラリートーク

日時：9月27日〔土〕、10月18日〔土〕、11月29日〔土〕
 午後2時～3時
 会場：アーツ前橋ギャラリー
 定員：どなたでも（未就学児は保護者同伴）
 参加費：無料 ＊当日の観覧券をご提示ください。

●マームとジブシー《Curtain Call》街なか展示

マームとジブシーによる本展参加作品《Curtain Call》は、当館の地下ギャラリーのほか、前橋文学館オープンギャラリーなど広瀬川河畔に点在する4つのポイントをめぐる回遊型の作品です。各会場の詳しい情報は、当館ウェブサイトか館内配布しているマップをご確認ください。

●おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターとともに、気づいたことや感じたことなどおしゃべりしながら鑑賞するプログラム。展示中の2作品を鑑賞します。（所要時間40分）

日時：10月11日〔土〕、11月8日〔土〕、12月13日〔土〕 午後2時～
 会場：アーツ前橋ギャラリー／定員：5名程度（事前申込）
 参加費：無料 ＊当日の観覧券をご提示ください。

〔次回開催〕「向井山朋子 Act of Fire」(仮称) 2026年1月24日〔土〕—3月22日〔日〕

〔前橋文学館の催し〕「夢の明るい鏡—三浦雅士と1970年代の輝き：『ユリカ』『現代思想』の軌跡」
 10月4日〔土〕—2026年1月25日〔日〕 TEL. 027-235-8011

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16
 5-1-16 Chiyodamachi, Maebashi, Gunma 371-0022
 TEL. 027-230-1144 <https://www.artsmalebashi.jp>



〔交通案内〕 ●公共交通機関：JR 前橋駅から徒歩約10分／上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分／JR 高崎駅から路線バス（西口1番のりば）で約35分、「本町」下車、徒歩約2分／JR 渋川駅から路線バス（駅前1番のりば）で約40分、「本町」下車、徒歩約2分 ●自動車：関越自動車道「前橋IC」から車で約15分 ※Pマークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に4時間無料の割引処理をいたします。

By Train: About 10 min walk from JR Maebashi Station

By Car: About 15 min by car from the Maebashi Interchange on the Kan-etsu Expressway

